

参考 1. 映画評論家が選んだジョン・フォード監督の名作(「駅馬車」以降の作品の中から)

山田宏一は、『映画 果てしなきベスト・テン』の中で

駅馬車(39)、怒りの葡萄(40)、果てなき船路(40)、わが谷は緑なりき(41)、荒野の決闘(46)、
三人の名付親(48)、アパッチ砦(48)、黄色いリボン(49)、リオグランデの砦(50)、幌馬車(50)、
静かなる男(52)、モガンボ(53)、搜索者(56)、リバティ・バランスを射った男(62)、ドノバン珊瑚
礁(63)、荒野の女たち(66)

芝山幹郎は、『映画 一日一本』の中で

駅馬車(39)、わが谷は緑なりき(41)、幌馬車(50)、リオグランデの砦(50)、搜索者(56)

双葉十三郎は、『外国映画ぼくの 500 本』の中で

怒りの葡萄(40)、わが谷は緑なりき(41)、荒野の決闘(46)、黄色いリボン(49)、静かなる男(52)

『ジョン・フォード論』の蓮実重彦が、＜文芸春秋 digital2022.7.15＞で挙げているのは、
駅馬車(39)、若き日のリンカン(39)、果てなき航路(40)、タバコ・ロード(41)、コレヒドール戦記
(45)、アパッチ砦(48)、幌馬車(50)、リオグランデの砦(50)、静かなる男(52)、モガンボ(53)、
搜索者(56)、月の出の脱走(57)、リバティ・バランスを射った男(62)、荒野の女たち(66)

参考 2. お薦め映画著作

『教養としてのフランス映画 220 選』/中条省平/祥伝社黄金文庫/2023

『永遠の映画大国 イタリア映画 120 年史』/古賀太/2023

『今のアメリカがわかる映画 100 本』/町山智浩/サイゾー/2017

